

◆2021年度中学入試算数 講評【駒場東邦】

素直な出題と、今までに見たことのないような思考力を試す面白い問題とを、例年バランスよく出題している同校ですが、本年もそのような構成でした。

大問2

前半は、8段目の上がり方が、6、7、8段目の上がり方の和の関係にあるような、高校数学では漸化式で表せるような場合の数の問題です。

後半は下から上の人と、上から下の人とが合う場合の数を求める問題で、正確に数え切るのは、難度が高いです。とはいえ、無理な出題ではありません。

大問3

複雑な立体の切断ですが、切断の本質を掴んでいれば解きやすく、一方で正しい理解を経ずとにかく反復学習してきた子には解きにくい問題です。

大問4

(3)は、 2021 が 43×47 で表せることを背景にした問題です。

「 2021 を題材に予想問題を作ってみよう」というテーマで筆者が昨年12月6年生相手に授業をしていた時に、問題の作り方の例として、即興でその場で作ってみた問題と同一です。

(正確には、 43 か 47 の倍数となる数を全て求める、という問題ですが問題の趣旨としては同じです)